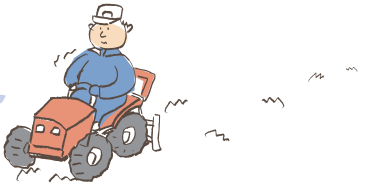


02 今後の予定・おしらせ



アンケートにご協力ください！

現在、市内農業者の方を対象に、本事業における取組や今後の都市農業活性化に向けたご意見を伺うため、アンケートを実施しています。5～10分程度で回答できますので、ぜひご協力のほどよろしくお願いいたします。

締切：令和2年9月15日（火）

内容：・営農活動で興味・関心のあるテーマについて

・令和2年度のモデル事業について

・今後の行政との連携について

など

※本広報誌を郵送している農業者の方にはアンケート票（紙）を同封していますが、WEBでご回答いただいても構いません。



こちらの QR コードも読み取って頂くと、WEBからの回答も可能です！



よろしくお願ひします！

Facebook ページも開設しました！



令和2年8月からFacebookを開設しました！このページはスマートフォンやパソコンからどなたでも閲覧することができます。モデル事業の最新情報など農商工連携に関連した情報を随時投稿していきますので、情報収集や農業関係者の方へのアプローチの場として、ぜひご活用ください！アカウントをお持ちの方はぜひ「いいね」や「フォロー」をお願いします！



年度ごとの事業のまとめ公開中！

平成 28 年度から4年分の農商工連携事業のまとめを作成しました！川崎市の HP 内「かわさきの農業」から閲覧することができます。ぜひ過去の取組をご覧いただき、ご活用いただければと思います！



連携フォーラム

過去7回のフォーラムでは、農業者をはじめ商・工業者等にもご参加いただき、多様な主体の皆さまが出会い、交流する場としてご好評いただいております。今年度も「第8回かわさき都市農業活性化連携フォーラム」を令和3年1月に開催予定ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で内容の変更や中止となる可能性もありますので、ご了承ください。



▲ 昨年度フォーラムの様子

かわさき都市農業活性化

コト・モノ・ヒト

川崎市農商工等連携推進事業

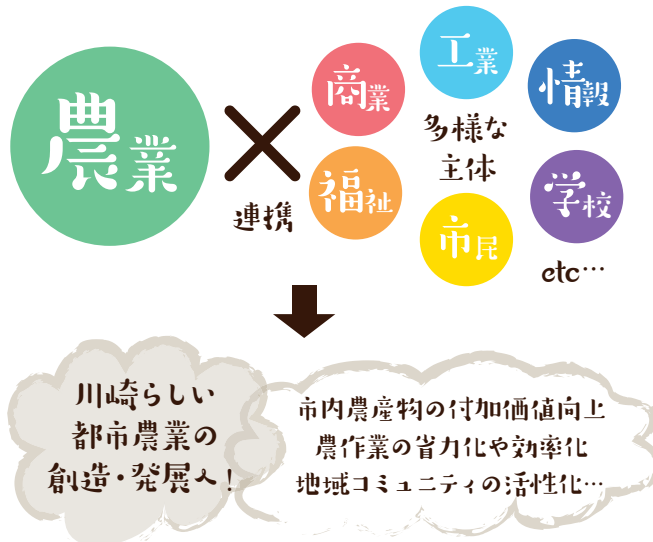
News



発行者：川崎市農業振興課

川崎市では、生産者と消費者の距離が近いというメリットを生かした営農や、農地の持つ多面的な機能を生かしたまちづくりが積極的に行われています。一方で、都市化の圧力や相続を契機とした農地の減少、農産物価格の低迷、担い手の減少や高齢化などの農業に関する様々な課題もあります。

これらのメリットや課題を踏まえ、農業者が、商業者、工業者など、多様な主体と連携することによって、都市農業の可能性をさらに広げることを目的に、平成28年度から「都市農業活性化連携フォーラム」、「モデル事業」をスタートしました。今年度も多様なテーマ別の交流や広報などを充実させながら更なる連携の可能性を広げていきます。



令和2年度は、以下の取組も予定しています

主な取組み

- モデル事業の実施 本誌01参照
- 都市農業活性化に関するアンケート
- Facebook 公開ページの試行
- これまで(4年間)の事業ふりかえり
- 連携フォーラムの開催〔令和3年1月予定〕
- 広報誌の発行（本誌含め年2回）

本誌02参照

今年度はモデル事業や連携フォーラムを実施するほか、Facebook ページを新たに開設して、農商工等連携の進捗などを発信します。

また、本事業開始から5年目になるため、これまでの取組を振り返るとともに、アンケート等を通じて農業者の声を伺いながら今後の事業の方向性を検討していきます。



お問合せ

川崎市 経済労働局 都市農業振興センター 農業振興課 農政係

住所：〒213-0015 川崎市高津区梶ヶ谷 2-1-7 JA セレサ梶ヶ谷ビル 2 階

TEL 044-860-2462 FAX：044-860-2464

01

動画を使った
川崎農家の
ブランディングモデル事業者：
一二三（ひふみ）

企画の目的・きっかけ

川崎市の都市農業の課題のひとつに農産物の付加価値向上がある中で、地元の飲食店によるかわさき野菜を活用したメニューが人気となるなど、様々な形で地元の皆さんに親しまれている事例が多くあります。

このような取組を進める農業者や店主の想い、ストーリーなどを多くの方に伝え、もっと都市農業の認知度を高めたいと考えました。

そこで、本事業では、若年層をはじめとする今まで認知されていなかった層を中心にアプローチし、新たなかわさき野菜のファンを獲得することを目標に、YouTube による動画プロモーションを展開していきます！

取組予定

地元大型店舗への出店や地元飲食店とのコラボレーション等の実績のある若手農家グループ「畑から、台所へ。」の YouTube チャンネルを開設します。

動画制作にあたってはロコっち新百合ヶ丘 by Beaulily と協力し、生産者と地元飲食店シェフの対談番組やキャンプ飯づくりの生配信など、かわさき野菜の価値向上や魅力ある地域情報の発信を行います。



▲ 畑から、台所へ。



▲ ロコっち新百合ヶ丘 by Beaulily



一二三

末吉 理氏

株式会社ノクチ基地役員、WEB と映像のクリエイター。新百合ヶ丘の芝生の公園『新ゆりアートパークス』で「AirGreen」を主催するなど、地域活動にも携わる。

02

管理栄養士の
ヘルシー・おいしい
レシピで
農家さんと食卓を箸渡しモデル事業者：
株式会社 E フィットウィル

企画の目的・きっかけ

以前、農業者の方から「食卓になじみの少ないケールの食べ方を売り場で紹介したい」という相談を受け、レシピの POP を作成し、スーパーの野菜売り場に設置してもらったところ、売り上げが3倍になったと報告を受けたことがあります。

そこで本事業では、野菜の美味しい食べ方や調理方法を伝えるヘルシーレシピを作成し、直売所などで活用できるようにします。レシピには QR コードを付けて Web サイトと連動させます。これにより、農業者の方と食卓を「箸渡し」しながら、かわさき野菜の付加価値を高める仕組みづくりに取り組んでいきます。

取組予定

管理栄養士が、旬の野菜の特徴や健康情報をのせたレシピを作成します。レシピにある QR コードから、WEB やスマホからもレシピが簡単に見られるようにします。POP やチラシの形態にしたレシピを、直売所や、スーパー、マルシェなどの売り場で活用してもらいます。WEB サイト (hashi-watashi.net) を運営し、レシピと農業者の紹介記事などを公開していきます。また、消費者と生産者をつなげるイベントを予定しています。



▲ WEB サイト活用イメージ

株式会社 E フィットウィル
藤井 紀美子氏

(株) E フィットウィル代表取締役。管理栄養士、公認スポーツ栄養士、健康運動指導士などの資格を活かし、地域や企業などで食と運動を通じた健康づくり支援に携わる。

03

剪定枝活用
「農商工+学」連携の
商品開発

～エシカルでサステナブルな農業を～

モデル事業者：
株式会社 CarnaEst

企画の目的・きっかけ

「都市農業」では生産者と消費者が近いため、果樹栽培では、果実を完熟させてから収穫し、付加価値をつけて販売できるというメリットがあります。

しかし、川崎市では多摩川梨や禅寺丸柿などの果樹栽培が行われていますが、剪定枝の処理において都市農業ならではの課題があります。それは、①野焼きに対する地域からの苦情、②剪定枝の処分費、③チップー機の設備投資による経費圧迫などです。

本事業では、この課題解決のため、農業者と地域が連携しながら、剪定枝を使った独創的な商品開発に向けて、仕組みの検討や課題を抽出することを目的としています。

取組予定

剪定枝を活用した子どもが使いやすいバイオマス食器を開発する上で、様々な課題があります。より魅力ある商品づくりに向けて、和光大学のプロダクトデザイン履修学生による食器の 3D データ製作、地球環境に配慮した環境樹脂製品の開発を行っているユニオン産業と協力しながら、試作品開発を進めます。

開発過程において、市内の保育園や教育関連施設などに使用感や感想等を伺い、今後の開発に活かしていきます。



▲ 和光大学との連携イメージ



▲ 剪定枝のイメージ

株式会社 CarnaEst
山田 貢氏

(株) CarnaEst 代表取締役。都市の中のアグリデザインをテーマに6次産業化の農業に取り組んでいる。昨年度もモデル事業者として市内農産物の廃棄ロス削減とブランド化の商品開発に取り組んだ。